

済生会熊本病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお知らせください。

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。

1	研究課題名	悪性大腸狭窄に対する大腸ステント留置術の検討ー屈曲部への工夫を含めてー
2	対象患者	2012年11月から2017年2月までに悪性大腸狭窄に対して大腸ステント留置を試みた全症例
3	対象となる期間	2017年3月22日～2018年3月31日
4	実施診療科等	消化器病センター
5	研究責任者	済生会熊本病院 消化器内科 医員 門野 義弘
6	研究の目的および意義	2012年1月より本邦にて大腸ステントが保険収載されて以来、大腸ステントの有用性が報告されてきた。しかしながら、穿孔や逸脱などの偶発症を起こす危険性もあり、留置するには手技と適応を含め、細心の注意が必要である。2012年11月から2016年1月までの25例の当院での治療成績について検討を行ったが、その後も順調に症例数が増加しており、引き続き治療成績の検討が必要である。
7	研究の方法 (使用する資料等)	原疾患、狭窄部位、屈曲の有無、ステント使用目的、留置成功率、臨床的成功率、平均処置時間、大腸閉塞スコア(CROSS)、食事開始までの期間、合併症について後ろ向きに検討する。
8	問い合わせ先	済生会熊本病院 臨床研究支援室 〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000（代表）